



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 15

2021.12.15 (No.3102)

ロータリーを学び、
ロータリーを広げよう

第2560地区ガバナー／高尾 茂典
会 長／ 歸 山 肇
会長エレクト／西山 徳芳 (クラブ奉仕A)
副 会 長／若槻八十彦
幹 事／五十嵐博宣
S A A／船越良則
会 計／渡 辺 良 一
直 前 会 長／野崎喜一郎
会長ノミニ／吉井直樹 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:57名中43名
■先々週出席率:78.95%

【ゲスト】

・三條市CMO 澤 正史 様

【体験型例会参加】

・曾根寿之さん

【先週のメイクアップ】

[12.9] 三條ローターアクトクラブへ
・ 歸山 肇さん、五十嵐博宣さん、
・ 相場弘介さん、滝沢 亮さん



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
2021～2022 年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

歸山 肇 会長



皆さんこんにちは。2021年の例会も、
本日と22日の2回になりました。

まずは2件の報告事項があります。

1件目は12月9日、地区事務局よりメール
で「日本ロータリー100周年ビジョン
レポート2020」が届いておりました。

内容は多岐にわたりますが、「全クラブ
へのWEBアンケートに表された日本のロータリアンの現状
認識や意識に基づく提言」が発表されておりました。出来る
だけ多くの会員に読んでいただきたいとのことです。特に
WEBでの全クラブへのアンケートの内容には同感する部分
も多くありますので、事務局よりメールにて添付していただ
き、見ていただきたいと思います。

2件目に、やはり地区事務局より「2021国際ロータリー
決議審議会決定報告書」がメールで届いております。

この報告書には

1. 審議会業務部よりの書簡
2. 採択された決議案
3. 採択された案件に関する投票集計

2021年の投票結果はMy ROTARYでご覧いただけます。
提案者も当然海外地区の立法案もあり、理解できるものも
ありましたのでメールを見ていただきたいと思います。

今日の話は、今気になっている「断捨離」についてです。難しく考えたり深い意味を考えるとなく、私は「不用なものを捨てる」と考えます。しかしながら、これが意外とできないのは私だけではないと思います。会員の皆様はどうでしょうか。

私の友人の話ですが、農業もやっている家なので当然農舎があり、中には農具や子どもが小さいころに使用していたおもちゃ・本など考えてもまずこれから使うことはないと思われるものでいっぱいでした。私も、これほどではないですが、似たようなものです。ある時その友人の奥さんが体を悪くして、リハビリをしても歩くことがやっとの状態になり、その時から友人は片づけを始めました。約1年後にはきれいに何も無い状態までしたのを目にしたので、話を聞いたところ「これで自分も体が不自由にならなったら」と思い、時間をかける余裕も考える間もなく、家や農舎から不用なものを捨てたそうです。おかげですっきりしたと話していました。

たしかに「もったいない」とか「そのうち使う時があるから」という思いで取っておくことも多いのですが、程度の差こそありますが処分した方が、物を片付けてしまっておくより整理するにも楽になります。

年末の大掃除の時、少しでも物を捨てることを意識し、スッキリと新年を迎えたいと思います。

幹事報告

五十嵐博宣 幹事

◎次週 22日(水)は、夜例会「忘年会」です。

ご欠席の方は事務局で記帳またはメイクアップをお願いいたします。

12月29日、1月5日は休会です。次の通常例会は、1月12日(水)新春例会です。

ニコニコBOX

歸山 肇会長

本日の卓話、澤 正史様、ありがとうございます。

寒くなりました。体には気をつけて下さい。

石橋育於さん

このたび大変うれしいことがありました。

野崎喜一郎さん

久しぶりの例会です。

まだ、不自由な毎日を送っています。

松永一義さん

石橋さん、三條新聞拝見しました。おめでとうございます。

澤さんの卓話、楽しみにしています。

小越憲泰さん

石橋会員“割烹二洲楼”厚生大臣表彰、お日出とう御座います。

都合により早退します。

会員増強委員会・荻根澤隆雄さん

曾根寿之様、本日は体験型例会参加ありがとうございます。楽しんで下さい。

山田富義さん

澤 正史CMO、三条市のために頑張ってください。

小出子恵出さん

澤さんの卓話を楽しみにしています。三条の活性化のために活躍されることを願って。

渡辺良一さん

年末はゆっくりできると思っていましたが、例年になく忙しくなっていました！

澤正史さん、卓話よろしくお願ひ致します。

衛藤泰男さん

本例会場での例会も今年は本日で終りですね。

一年間ご指導ありがとうございました。

澤三条市CMO様、卓話ありがとうございます。

西山徳芳さん

もうすぐお正月が来ます。孫はお年玉の胸算用を始めたようです。

渡辺勝利さん、五十嵐博宣さん、斎藤弘文さん

丸山行彦さん、柳取崇之さん、杉山幸英さん

若槻八十彦さん、高橋 司さん、中林順一さん

明田川賢一さん、小林吾郎さん、石黒良行さん

小林卓哉さん、梨本次郎さん、野水靖之さん

相場弘介さん、船越良則さん、松永隆夫さん

飯塚一樹さん、松平隆行さん、関 義実さん

中村信一さん、早川滝徳さん、

三条市CMO澤正史様を心より歓迎申し上げます。

本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

12月15日分 ￥ 45,000

今年度累計 ￥ 557,000

「卓 話」

「ふるさと納税とは？その目的と戦略について」

三条市CMO 澤 正史 様

CMOとは？



皆様はじめまして、三条市役所CMOの澤と申します。今年の10月に東京から三条へ引っ越し、三条市役所のCMOに就任しました。CMOとは、

“Chief Marketing Officer” の略

で、日本語に訳すと「最高マーケティング責任者」となります。会社組織で言うとマーケティング担当の取締役レベルの役職になります。

では、市役所のCMOとは一体何をするのでしょうか？私の第一のミッションとしては、ふるさと納税における税収アップがございます。ふるさと納税の税収アップをする、ということは、三条市や製品のブランド価値向上にも寄与することになります。

また、CMOという役職に任命いただいた理由としては、ふるさと納税に限らず、「三条ってステキだよね」と言っていただけのブランドづくりをしていくことを期待されてのことかと考えています。

ふるさと納税の目的

寄付者への税金控除や過度な競争についての話がメディアに取り上げられがちですが、ふるさと納税の目的を様々な立場から見て、考えてみたいと思います。

総務省はふるさと納税の意義を下記のように示しています(総務省HPより抜粋)。特に2つ目が大事な点で、三条市が応援したい地域になれるかどうか問われているのかと考えています。

1. 納税者が寄附先を選択する制度であり、選択するからこそ、その使われ方を考えるきっかけとなる制度であること。それは、税に対する意識が高まり、納税の大切さを自分ごととしてとらえる貴重な機会になります。
2. 生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域に、これから応援したい地域へも力になれる制度であること。それは、人を育て、自然を守る、地方の環境を育む支援になります。
3. 自治体が国民に取組をアピールすることでふるさと納税を呼びかけ、自治体間の競争が進むこと。それは、選んでもらうに相応しい、地域のあり方をあらためて考えるきっかけへとつながります。

また、三条市民にとっては下記のようなメリットがあると考えられます。25億円稼ぐことが目的ではなく、その先に三条市民の皆様がその利益を享受することまでがゴールだと考えます。

1. 税収が増えることで行政から受けるサービスが向上される
2. 地域課題を解決できる
3. 地元企業が潤うことで、その恩恵を受ける可能性がある

さらに、寄付に対するお礼の品を提供している返礼品提供企業のメリットは大きく下記になります。

1. 新しい販路になる
2. 全国にPRできる
3. ビジネスのノウハウや知見を得ることができる
4. 地域に貢献できる

私が企業へご挨拶に行く際に、もっともよくお話に出るのは、「三条のためになるなら！」や「三条の役に立つことができ、嬉しい」といった社長さんたちのお言葉です。金銭的なメリットもありますが、三条をつくっていくのは皆さんご自身であり、そこに企業として貢献していることの誇りを持って企業活動をされるのがいかに大事なのかを感じさせられます。

三条市ふるさと納税の戦略

三条市の強みについて、すでによく言われることかもしれませんが、私なりに整理してみました。すばらしいモノ、コト(体験)はすでにここにあるので、あとはそれを等身大でしっかりとした情報に整理し、コンテンツとして適切なルートで情報発信をするだけだと思っています。これらの強みがあることが、私が三条へ来た理由でもあり、三条が成功しないのであれば、全国どの地域でも成功するはずがない、と考えています。

1. 「ものづくり」のネットワーク、確固たるポジション
各企業がそれぞれの強みを持ちながら、集積しており、さらにネットワークがしっかりある、というところは大きな強みだと感じます。また、「ものづくり」のブランドとしても確固たる地位をすでに確立しています。
2. 自然＝農作物&アウトドア
ここは住民の皆さんはあまり感じないことかもしれませんが、米に限らず、果物もとびきり美味しく、どこの産地にも負けないクオリティを

持っています。また、アウトドアも時勢に乗って伸びている分野で、アウトドアメーカーが集積しているだけでなく、キャンプ場もあることは大きな強みだと考えます。

3. チャレンジ精神

社長さんが多い土地柄だからか、ものづくりにおいて切磋琢磨してきたからかわかりませんが、向上心が強く、チャレンジしてみよう、という風土が三条にはあると感じています。これから未知の時代を切り開くためには、失敗してでもチャレンジを続けることでしか成功はありません。

上記を踏まえて、ふるさと納税の戦略については、大きなところだけご説明します。寄付額トップの自治体群に見られる傾向としては、魚介、肉、米など、重量と価格での勝負をしていき、どこの地域のものかよくわからずにご寄付されている納税者もたくさんいらっしゃるかと思います。それとは一線を

画し、三条ブランドだからこそできる製品への寄付に差別化、つまり、高品質、高単価を狙っていきます。

未来を見据えて「オール三条」で

ふるさと納税もそうですが、三条を地域として盛り上げるのは、三条の主役である皆様が主体となてなされるべきだと考えています。私もプロとして結果を残すべく一生懸命やらせていただきますが、三条は皆様のふるさとであり、皆様一人一人によって構成されているからです。また、私自身この地域のことについてもわからないことも多く、皆様からいろいろと教えていただきたいですし、皆様の応援なくしては何もなしえません。これからの三条の未来を見据えて、「オール三条」で力を合わせて「選びたくなるまち」をつくっていくことを皆様と一緒に推進できればと思っております。全国に、世界に誇れるまちづくりを一緒にしていきましょう！

職業奉仕月間

石倉政雄 職業奉仕委員長より



『施設見学例会』のご案内

日にち 2022年 1月26日(水)

場所 三条市立大学

スケジュール

12:20 三条市立大学 S216教室(南館2階)に集合
12:30 開会点鐘・会長挨拶
12:35~12:55 「卓話」三条市立大学 学長
アハメド シャハリアル様
13:00~13:20 食堂にて昼食
13:20~14:00 構内見学(見学後、解散)

次週例会 12月29日 休会(年末)

次々週例会 1月5日 クラブ休会

